**現場の週報から（令和2年9月7日～10月4日）**

**【9月7日～9月13日】**

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・11日敬老会を開催しました。皆さんに聞いて、それぞれ考えて下さり…お祝いって程じゃなくてもなにかね。と話になり一足早く食事会をしました。寿司が食べたいと話が上がり、平禄寿司で注文しました。日頃のお手伝いなど職員からも感謝を伝えた日でした。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・新規でIさんがご利用されております。体験利用の折は何度か帰りますとお話しされるご様子もありましたが、ご利用が始まると、ご家族様の助言もあること・利用者さん同士で関係性が出来つつあること・すごろくや体操そして何より毎週午後から出かけるのを楽しみされている一面もあるようです。10日大衡村の万葉の森四季彩苑に外出し、蓮の花を皆さんと散歩しながら眺めて来ました。帰りの送迎時ご本人より夫氏に「今日も遊んできちゃった」と笑顔で声をかけられ、夫氏より笑顔で「お～そうか昔何十年も前に行ったな」とご返答がありました。これからもより良く過ごして頂けますよう、皆さんとの対話と職員との対話を重ねて来て良かった～と、帰りに感じて頂けるようコツコツとみんなでつくっていきたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・先週末に２階３階ユニットで時間をずらして花火大会実施。当日の天気予報はずっと雨マークがついていたものの、なんとか持ちこたえて無事に開催出来ました。「早く撮って！」と花火をする自分の写真撮影をせがむ方がいたり、面会にいらっしゃっていたご家族やスタッフのお子さんも交えて、久しぶりに皆でワイワイ出来た時間でした。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今週はお月見の設えを行いました。黒い画用紙に皆さんで月見団子とウサギや秋の果物のブドウなどを折り紙などで作り、レイアウトを相談しました。ススキは茶色の荷造り紐を使いました。ウサギを最初は月見団子の傍にしていたら、「ウサギはやっぱり月の中で餅つきしてないと駄目でしょ、ブドウはこの辺り、ススキはこんな感じ」と細かく話し合いが行われました。出来上がりは皆さん納得されたようでした。その他にブドウなどを今後吊り下げる予定です。「シャインマスカットは盗まれるから防犯カメラつけた方がいいんじゃないの？」と声も上がりました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・雨が続いていましたが、晴れ間にゆめみの杜周辺を散歩しました。田んぼを見て「もうすぐ新米だな。」と。新米が取れたら「塩むすびにしてくれ」と笑顔と。いつもは日中体調が悪く寝ているSさんでしたが、しっかり自分の言葉で伝えてくれました。「塩むすび」。その話を職員が聞いて「収穫祭」GHで米取れてないけどね～。入居者さんからも突っ込まれましたが。職員！！そこは笑いで乗り切りました！！

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・先週まで月～土の面会はほぼ毎日１０組程度ありました。洗濯物を取りに来るに合わせて面会していきます。土曜日はなかなか来られないお孫さん、ひ孫さんの面会が入ります。これだけ施設を身近に感じてもらえているのかなと感じます。面会時間はご利用者も和やかにひと時を過ごされます。その後、ご家族やお家が恋しくなってしまう方もいますが、それが当たり前です。今日からまたZOOM対応になりますが私たちができることの対応で今後も支えていきたいと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・８日、久しぶりに床屋を実施しました。ななみの開所時から、月１回来てもらっている方で、もうお付き合いは４年になります。その訪問理容を紹介してくれたのも、ななみに入居されたご家族で、「今までずっと切って貰っていた人で、すごく上手なの。だから継続して切って貰えないかしら？」とお話しがあり、その後他の方も「私も切って貰いたい。」「私も…」等と、徐々に人数は増えていきました。そんなこんなでお付き合いも４年目になり、髪を切る人、切られる人という関係だけではなく、「〇〇さん変わりはなかったですか？」「ずいぶん伸びましたね」「そろそろ〇〇の季節ですね」等と、カット中色々な話題で会話を楽しまれ、そういう時間（会話）も含めて、皆さん楽しみにしていると思います。綺麗になった姿を職員や他者からも「素敵だね」等と褒められ、少し恥ずかしそうにする人もいました。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・9日、やくらいガーデンに行ってまいりました。広大な敷地に色とりどりの季節花が咲いており、目で見て鼻で香ってと、五感で感じられる素敵な空間でした。当日は9月にもかかわらず30度超えの猛暑で、お一人の方が軽度の熱中症になりかけましたが、やくらいガーデンのスタッフさんが総出で水分補給や休憩場所への誘導等のサポートをしてくださり、事なきを得ました。人の温かさにも触れられた1日でした。

**【9月14日～9月20日】**

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・19日に敬老会を行いました。前々から準備していた「アマビエ様」が登場する劇を、ご利用者さんたちのご協力の元、無事に行うことができました。劇は音声を予め録音し、当日は声は出さず動きで表現。これも飛沫対策です。当日を迎えるまで、プログラムを書いて下さる方、アマビエ様のちぎり絵をして下さる方、劇の練習に没頭する方、その光景をニコニコして見守って下さる方。そんな過程が楽しくもあったり、そして、その過程が何よりも大切なことだと感じました。ストーリー作り、ご利用者さんへのお声がけ、細かい準備…、係の職員さんへ感謝です。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は敬老会と題して感謝祭を行いました。イベントでは職員の幼少期の写真を投影し成長の様子を温かく見て頂きました。ご本人からは「かわいい～」や「全然分かんないね～」とたくさんのお話しを聞くことができましたし、とても盛り上がることができました。食事も厨房の方々が朝早くから準備をして下さり、とても素敵なお膳とデザートを提供することができました。式典では最高齢、米寿、喜寿の方々のお祝いをささやかですが行わせて頂き「これからも長生きで頑張ります！」と心強いお言葉が多くありました。コロナ禍でミニ感謝祭でしたが開催できたのは職員のチームワークとご本人と一緒に考えたイベントだったからだと思います。今後も配慮はもちろん感謝の気持ちを忘れずにイベントや日々の生活に活かしていければ良いと思っています。もうすでに「来年はどうしましょうか？」と職員と対話をしている姿が見られていました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・17日に感染予防をしながら、敬老会を行っております。昼食にお寿司を皆さんで食べてお祝いしております。久しぶりのお寿司に「おいしね」「久しぶりに食べたね」と、とても大好評でした。その後、２階ユニットでは、おやつの時間を利用して、敬老会を行っています。入所されて、6か月経過したので、かぐらの杜で過ごした写真をアルバムにし、「これからも楽しい思い出を作って、アルバムの写真を増やしていきましょう。」という思いをお伝えし、一人一人にお渡ししています。皆さんにお渡しすると、「こんなことあったけ？」など皆さんアルバムを見て思い出話をされていました。今月末には1階でも、別日にイベントを行い、お渡しする予定です。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・今年、地域の行事は敬老会まで中止だと、四月に区長さんからお話しがありました。毎年地域の方と触れ合う機会だったのですが、今年行けなくなりました。ケアホームでも毎年お祝いをしている 敬老会。今年は、外部の方も呼べないので、ゲームをしました。お弁当もいつもの所とは違う場所でお願いし、食べました。手作りの写真立てに、ご利用さんの写真を添えプレゼント。皆さんでお祝い会をし、楽しく過ごされました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・来週に実施する敬老会のプレゼントに小物入れ用のがま口を作成しています。ご利用者さんにも布を切るのをお願いしましたが、「何に使うの？」と聞かれ「何に使うのか分からないけど切るように言われてまして…」と口を濁す職員。出来ればその方の好みの色をプレゼントしたいので、「○○さん、この中でどの色が好きですか？」と聞くと、「こっちの色のが好きだわ、何に使うの？」とまた、聞かれました。「なんか、とりあえず切るように頼まれたんですよ・・・」ご利用者も何となく悟り、それ以上は・・・でも夕方に職員が縫物してる姿も見られてるのでバレバレです。裁縫が苦手な職員は、特に思い込め一生懸命縫いましたが、自分の指にも思いを込めて針を刺しました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・20日に敬老会を実施しております。女性スタッフによるハンドベル演奏、男性スタッフによるマジックショー、クイズ大会、穂積チーフの女装間違い探し等、バラエティーにとんだ会になりました。お年寄りもそれぞれの催し物に参加する姿が見られ、良い表情で過ごしておりました。利用人数が多かったこともあり、送迎時間が多少押してしまいましたが、大きなトラブルなく無事終了しました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・20日に「人生の先輩に感謝する会」のイベントを行いました。今回はボランティアさんを呼ぶことが困難の為、午後から皆さんに「カラオケ」、「ドライブ」、「タッチング」の３つからやりたいことを事前に選んでいただきました。当日に「ドライブ」希望の方が多くなり、2台で行きましたが、「カラオケ」を診療所側、「タッチング」を老健側で行い、各々楽しまれたり、リラクゼーションしておりました。また、昼食は毎年豪華ですが、今回も豪華、そしておやつも豪華、果物の切り方など厨房で工夫して頂き、皆さん大変喜ばれておりました。ボランティアさんのだしものをみることも楽しいですが、皆で参加することもとても有意義な1日になったと思います。



■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・20日に敬老会を行いました。日頃よりショートステイをご利用いただいている利用者さんに感謝を伝えると共に敬老のお祝いをみんなで行いました。１０２歳の利用者さんを筆頭に利用者さんお一人お一人に感謝状を贈らせて頂きました。感激して涙を流される利用者さんもおり、特別な時間をみんなで過ごすことができました。

■デイサービスみやぎの杜：猪狩健介さん

・裏庭で育てたスイカを収穫しました。利用者のSさんが苗から植えて利用の度に手入れをして下さいました。みなさん『甘くて美味しい』と好評でした。Sさんは自主的に花壇や畑の手入れを行い、育てた菜花を利用者の皆さんにプレゼントしていただいております。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・16日お向かいの保育園の運動会がありました。毎年見学をさせていただいていましたが、今年はコロナで見学できず。柵越しに眺めていました。また稲刈りが始まり、玄関先でお茶のみをしながら秋の始まりを音と匂い、肌で感じた一日でした。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・13日に以前からご利用者よりやってみたいという「手作業の会」を平日に開催しました。時間の経過をともに参加されたご利用者の真剣度がどんどん増し、結果的に大盛況で終わることができました。参加した方からも「これ孫にプレゼントするんだ」「すごい集中したから疲れたけどとても楽しかった。また参加したい」などと感想を頂いております。引き続き、ご利用者のやりたいことなどの声を形にして参ります。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・17日に敬老会を開催しました。敬老会担当職員は、職員手作りのランチョンマットにメッセージを添えてお寿司でお祝い。区の民生委員さんから届いた手作りマスク、職員の手作りマスクとアベノマスクも一緒にプレゼントしました。祝い年の入居者さんは黄色のちゃんちゃんこ？で記念撮影し額に入れプレゼントしました。入居者のIさんのお話より「まだまだ若い！！しかし、、歳はとるものだから、今日もおいしく食事をしてニュースを見て時代劇を見てぐっすり寝ましょう～」と。Iさんの楽しみはBSでやっている時代劇を毎日見ること！！毎日時代劇を見るためにしっかり食事をして体力をつけるそうです！！

■介護老人保健施設さくらの杜：丹野怜さん

・17日、18日に、さくらの杜六魂祭と題して８月に開催予定だった縁日イベントを開催しました。コロナの影響で皆さんどこにも出かけられない、会いたい人に会えないなど窮屈な生活を送っていることだと思います。コロナがいつか収束した際には元の生活に戻れるように願い（魂）を込めて、東北六県に関連したゲーム等をご利用者と一緒に楽しみ、換気や消毒、感染対策を行いながら短い時間でしたが六魂祭を行いました。ご利用者から「今年はやらないと思っていたから、こんなに立派にやってもらって感謝です」というお言葉を頂きました。まだまだコロナの影響は続くと思います。コロナだからイベントができないでなく、できるようにするにはどうすればいいか考えていきたいと思います。

**【9月21日～9月27日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：高橋秀和さん

・敬老会ではプログラムやお料理のお品書きを一つ一つお年寄りが書きラミネートにしたところ記念にと持ち帰る方もおりました。デイケアスタッフのおばあさんが希望の杜に通われており１００歳を迎えられ百寿のお祝いをしました。たくさんの方々から祝福を受け自宅に帰ってからご家族に何回も嬉しかったと話されたようです。式典ではお年寄りがハーモニカで浦島太郎を演奏し演劇 浦島太郎を行いました。ハーモニカの周囲にはアクリル板を設置し舞台裏からナレーション担当がシナリオとセリフを話し出演したスタッフは身振り手振りでセリフを話さず行いました。予想以上の盛り上がりを見せ敬老会が終わってから本当に来て良かったとあたたかい言葉をたくさんいただきました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・今年の敬老会はけやきのみでの開催となり、２０日に前祝い膳をみなさんでいただき「うわ～きれいな器に美味しいお料理がいっぱい入っているから、何から食べたらいいか迷うね～」「とっても美味しいから、少し残して後から食べようかしら～」など、会話が弾み楽しい会食を過ごされています。２１日には敬老の日をお祝いしメッセージカードと一緒にささやかなプレゼントをお渡しし、ご入居者のみなさんの長寿をお祝いしました。ご入居者のみなさんも紅白のお花を一緒に飾り付けしてくださったりと、みなさんと一緒に協力して過ごした敬老会はとってもステキな時間でした。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・「はたらくデイ」として草取りの第2弾を22日、24日に行いました。（写真は連携室よりお借りしました）今回はデイを利用されている方のご自宅の草取りを行っております。前回は8月の暑い中に行いましたが、今回は気温も少しは涼しくなりはたらきやすかったかと思います。草取り後は次の回に踏まえて反省会を行い、いろいろな感想や意見を頂いております。仕合わせの会に参加されているHさんも一緒に行って頂きました。「デイ」を利用されている方、利用されていない方、今後も「はたらくデイ」を共にできるようになっていければと思います。



■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・24日に敬老会を開催しました。各ユニット毎にちらし寿司を作り、午後は紅白まんじゅうとお抹茶を一緒に召し上がって頂きました。女性利用者さんの中には、昔少しだけお茶を習っていたという方が何人かおり、ではご自身で点ててみませんか？とお願いしたところ、最初は「いや～もう何年もやってないから」と遠慮されていましたが、目の前に道具を準備すると、立ち上がり、見事にお茶を点てられていました。最期は職員から笑顔の写真を飾ったメッセージカードをプレゼントさせて頂き、お互いに「いい笑顔ね！」と見せ合いながら喜んで頂きました。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・23日に敬老会を行いました。参加されたご利用者からも「本当、スタッフは芸達者の人たちが多く、行事が楽しみでしかたがないよ。」「コロナ禍で大変な中、敬老会を開催してくれてありがとう。実は、今年は諦めていたんだ。とっても楽しかったよ。」と感想を多く頂きました。来月は、秋祭りを企画しておりましたので、またご利用者と一緒に準備を進めて参ります。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は敬老のお祝いで炊き込みご飯やおはぎ作りを行いました。また、畑で獲れたさつまいもで焼き芋をしたいとお話があり、デイホームのご利用者とこども園の子供たちで準備をし炭火で焼きました。なかなかの大きさでしたが、みんなペロッと一個食べてしまいました。当日は雨の予報もありましたが好天に恵まれ、秋の空気を感じながらのひと時でした。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・22日Hさんとカンファレンスをしています。体操や歩行練習をしたいと希望が強くあり、毎日実施していますが、水頭症、体調の変化もあり歩けなくなってきています。今のご本人のしたい事の確認を一緒にしました。歩きたい自宅へ行きたいの想いは変わらずあり、どこを一緒に出来るのか工夫を少しづつ話していく事にしました。26日、Hさんから「自分も人の役に立ちたいんだ」と話がありゼリー作り一緒にしませんか？と誘ってみると「やってみるよ」と作ってくれました。



■デイサービスみやぎの杜：猪狩健介さん

・22日。2階ベランダにてＢＢＱを行いました。天候も良く、テントを張って外に椅子とテーブルを並べて皆でお肉や海鮮を焼いて食べました。「外で食べると旨いね」と普段食が細い方もたくさん召し上がり、「次は芋煮会がしたいな」との話も出ております。調理が得意な女性メンバー陣を中心に計画を立てて10月に実行していきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・先週は敬老会週間で、ご利用者のリクエストメニューを昼食に召し上がっていただきました。日替わりでお刺身の日やお寿司の日、はらこ飯の日と豪華なお食事でした。はらこ飯やお赤飯、茶碗蒸しを手作りしました。お赤飯の炊き上がりや茶碗蒸しの出来上がりまで、本当にうまくできるか職員はハラハラドキドキ。もち米の割合や水の量、卵とだしの割合・・・ご利用者が食べたいと言ってくれたメニュー、失敗するわけにいきません。出来上がりは最高で、ご利用者は皆さん完食されました。午後は職員の出し物で沢山の笑い声が響きました。マツケンサンバではご利用者にもボンボンを持ってもらい手の振りを一緒にして頂き、キレッキレのマツケンが登場。最後にスライドショーを映すと「ああ～懐かしい、こんなことがあったね」とか「もっと笑った方がいいか」と映った顔につっこんでいた方もいました。来年はいつものようにＧＨさんと合同で出来ればいいなと思います。ご家族様にも参加して頂きたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・27日利用者さんから、ピザが食べたいと要望が聞かれており、21日にお誕生日だった利用者さんのお祝いを兼ねて、ピザ作りを利用者さんと職員が協力して行いました。「ピザなんて作ったことなんかないわよ、どうやって作るの」と言った声の中で会話を交え、笑顔で作業を行いながら、完成したピザをみなさんで食べました。あまり食べたことのない利用者さんからも喜びの声が聞かれておりました。お誕生日祝いの利用者さんにも喜んでいただけたようです。これからも、利用者さんの声に沿った関わりの場面を増やしていきます。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・敬老会、改め「健康会」を行いました。皆さんと一緒に制作した健康会の看板と一緒に表彰式を行い、中には「これ、何の賞状だ？」と聞かれる方もいらっしゃいました。「皆さん、お元気に過ごされているので、健康賞です」とお伝えすると「そうか。俺、疲れるって知らねえもんな」と95歳の方からのお言葉に「今は、元気なお取り寄りが多いよね。見習わなくちゃね」「こういう所があるから長生きするんだよ」と笑顔で締めくくられました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・敬老会を行いました。23日が１階ユニット、25日に２階ユニットでした。昼食にはお寿司を食べ、それぞれのユニットで感謝の気持ちを表した手作りのカードやお守りをプレゼントさせていただきました。2階のユニットで風船を2つ使った風船バレーを実施したところ、みなさんとても楽しまれ、普段はあまりレクに参加されないOさんが強く打ち返しながら笑顔を見せて下さいました。暑さが和らいだかと思えば、肌寒く感じる日が増えてきました。衣類の調整や室温の管理を行いながら、体調を崩さないように過ごしていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・23日24日、両日にわたり敬祝会を実施しています。昼食メニューも23日がお赤飯にお刺身、揚げたての天ぷら、24日がお寿司と皆様食も進み美味しかったと好評でした。午後は、スタッフが家で眠っていた物をもちより大抽選会をしました。買い物が好きな方に、クーラーエコバッグが当たったりと皆様目を輝かせて景品をゲットしていました。そして、歌謡ショーでは、ヒロシ＆キーボーが登場し会を盛り上げてくれました。最後に一年の振り返りとしてスライドショーを上映し、今年度旅立たれた方を皆で偲びながら一年を振り返りました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・24日、毎年恒例のおはぎ作りを行いました。コロナ対策として栄養士が作業行程をしぼりご利用者とは30分くらいであんこやずんだをのせる作業を行いました。さくらの杜ではもち米ではなく半殺しのご飯にゼラチンを入れてもちもち感をだしています。今年はボリュームもあり「久しぶりのずんだおいしかったー」と好評でした。10月は“秋の味覚”をテーマに各ユニット美味しいものを食べようとそれぞれご利用者と企画中です。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・24日遅れた敬老のお祝いとして、ななみ恒例のサンマを炭火で焼きました。当日は少し肌寒い日でしたが、みなさん外に出てこられ、焼きあがるサンマを眺めていました。みその焼きおにぎりも作ってみましたが、ひっくり返すと網にご飯はくっついてしまい、早々に中止となりました。職員と一緒にうちわで炭を仰いだり、サンマをひっくり返すたびに「ほら見て！いい色」「いい匂いもしてきた」「美味しそうだね」など思い思いの感想を述べていました。昼食に焼き立てのさんまを出し、「うまい」「いい塩梅だね」等と、骨もきれいにとられて食べていました。最後に職員手づくりの写真のプレゼントを渡すと、「こんなに色々な顔してたっけ？」「こんなに写真いつ撮ったんだが笑」など、写真を眺め「ありがとう。貰っていいの？」などと喜ばれていました。

**【9月28日～10月4日】**

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・1日中秋の名月にて、ドライブしながらススキを取りに行きました。9/29(火)から法人内レベル2になり、ご利用者の方々と曼珠沙華を見に、村田の神社と船岡城址公園へ行きました。緑の葉に、赤い色花をつける曼殊沙華。「きれいだねー！！」と皆さんの顔を笑顔にしていました。



■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・9月下旬、十五夜の話になりました。今年は1日が十五夜。団子を作るか今回は買って食べるか皆さんへ聞いてみると「今回はつつみ庵の団子でも買ってたべようかね」と。1日の天気は曇り。かすかに見えないか夕食後外へ出ると月が出てました。「お月見しませんかー」と声を掛けると皆さん玄関先へ。2・３分の短いお月見でしたが、自然と月の歌をみんなで口遊んでいました。



■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・ご本人達と５日の白玉団子作りイベントについて話を行いました。「白玉は何個くらい入っていた方が嬉しいですかね？」「今時期だから栗が入っていた方が良いと思うの！」とたくさんのお声を聴かせて頂きました。皆さん食イベントをとても楽しみにして下さっているのが伝わってきますのでこれからも配慮を怠らず楽しんで頂けるイベントを皆で考えていければ良いと思います。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・最近新規で来られたTさんはご家族様の事情でGH入居という選択肢もありながらご利用されております。お話し好きで星を眺めるのも好きという一面をお持ちの明るい女性の方です。ドライブをしながら仙台港公園に出掛けると、海やフェリー・釣り人との触れ合いをし、皆さんとの交流も少しずつ深めておりました。帰り際に「どこかに一泊して帰ってるみたい。すごく充実した1日だった」と感想を述べられ、とても喜ばれておりました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・１日は中秋の名月にてお団子をみなさんで美味しく食べました。夜は入居者のみなさんと一緒にお月見をし、「ありゃ～こんなにおっきいお月さん、初めてみたね～」「寒くなってきたからきれいなんだな～」とみなさん笑顔で拝まれていました。それぞれの想いを語りながらお月さまを見上げる後ろ姿を拝見し、みなさんがポッと話す言葉には沢山の学びがあり、その一言一言に触れられる私たちは幸せだな～と感じた瞬間でした。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・面会・外出制限が解除となり、家族さんが面会に来られたり、お買い物に利用者さんと一緒に出掛けました。Kさんと一緒に生協にでかけた際に、「久しぶりの外出だ。たまには外に出ないとね」と話されました。対策を行いつつ、買い物にでかけたり、当たり前の日常を過ごしていきたいと思います。イベントも工夫しながら計画していきたいと思います。2階に新しい入居者の方が入られます。受け入れの事前準備を行いながら、慣れない環境で少しでも不安を軽減できるように関わっていきたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・中庭のウッドデッキのペンキ塗りをしました。最初は見ていたご利用者さんも、声をかけると「どれ！」と立ち上がり、塗って下さいました。秋晴れの中、日光浴をしながら、ウッドデッキは蘇りつつあります。

・「明日、十五夜なんだね。」と話から、「だんご食べたいねえ。」となり「じゃあ、作りましょう。」に至り、早速準備開始。材料を購入、すすきを飾り、１日にはみんなで団子づくりです。「味が薄いねえ。」とみたらし班。「あんまり柔すぎるから、なまこな持ってきて！」と団子班。「なもこなってなんだろう」と片栗粉をもっていってみる。「いいね、なんとか。」といわれながら、多少大きめな団子を夢中で丸められ、無事にできあがりました。ごま、みたらし、ずんだの3種類をみんなでぺろりと食べました。（月より団子でした）

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・面会制限緩和の連絡を行うと早速面会に来てくださっています。玄関先での問診票記入の声掛け・アルコール消毒・マスク着用確認と声掛け、居室内の換気。ご家族様馴れてきておりこちらから声をかけなくても「次はこれだよね。しっかり対策しないとね」と。あるご家族様からは「ZOOMの後は何が出てくるかね～。デジタルになれないと世の中おいてかれそうだね」と。新しい生活スタイルになってきたな～と日々感じています。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は利用者さんの誕生日があり、久しぶりに個別の外出をしました。途中で大好物のソフトクリームを買い、公園で食べました。天気もちょうどよく、遊びに来ていた小さな子供を眺めながらのひと時でした。また、ヒガンバナを見に七北田川へ出かけたり、園芸センターの藁アートを見に行きました。10/1には十五夜の団子作りを行い、おやつに食べています。これから秋も深まるので、紅葉を見に行きたいとの希望も聞かれています。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・今年の敬老会は少人数ごとに数回に分けての開催となりました。皆さんに食べたいものを伺い、それぞれの曜日で食事作りを行い、職員の手つくりの贈り物をプレゼント。大きな催しではありませんでしたが、それぞれの方にメッセージカートを添え、喜んで頂けたようです。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・23日に事業所内で敬老会行事を行いました。お寿司を購入し、皆さんと一緒に美味しくいただきながら敬老をお祝いすることが出来ました。また、フォトフレームにお一人お一人の写真を収めたものを職員より贈呈させていただき、利用者さんもとても喜ばれていました。年に一度の行事ではありますが、日頃の感謝の気持ちを常に忘れずに、これからの日々を大事に過ごしていこうと改めて思うことが出来ました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・船岡城址公園では彼岸花が見ごろとテレビのニュースが流れました。ご利用者さんから「この頃、見に行ってないな」と声があがりました。勿論、その日の午後は彼岸花を見に行くことに決定です。職員もドライブの準備をあっという間に完了。真っ赤な彼岸花が咲き誇って私たちを待っていました。久しぶりのドライブにご利用者と職員は彼岸花の赤よりも真っ赤に頬を染めながら観賞していました。連泊のご利用者さんと夜はお月見をしました。ススキやりんどう、菊の花をご利用者さんに活けて頂き、曇り空の隙間にちょっと見えるお月様。日本の四季を感じることが出来ました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・30日ご利用されているSEさん、SUさん、Nさん、Aさん4名で冊子「はたらく」ススメを読みながら共に勉強会をしました。先日山崎先生より伺いました「はたらく」についてお話させていただきました。今後、毎週水曜日にミーティングを開催し、「できること」「やりたいこと」を見つけていく運びとなりました。現在でも「できている」ことは沢山あることを確認しています。まずは、杜の家ゆづる内でメンバーさんが「できる・やりたいこと」を見つけ実行できるようサポートしていきます。職員理解も重要ですので都度確認・勉強も進めていきたいと考えています。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・今週は、秋の設えを利用者さんと一緒に考え、作成し飾り方を行っています。紅葉や栗を中心に飾りを作り飾りつけを行いました。利用者さんも会話の中で紅葉狩りの思い出や山に紅葉の景色を見に行った思い出の話をそれぞれに懐かしそうに話されていました。近いうちにドライブをしながら紅葉の景色を利用者さんに観ていただこうと考えています。利用者さんもドライブを楽しみにされている様です。